

令和7年度美幌町立旭小学校

家庭学習のてびき

～ぐんぐんのびる旭の子 「進んで学習する子ども」～



「自ら学ぶ子ども」を育む家庭環境

- その1 基本的な生活習慣を整えましょう
「早寝・早起き・朝ごはんと家庭学習」
- その2 家庭の学習環境を整えましょう
「決まった場所で決まった時間」
- その3 家庭学習習慣の定着を目指しましょう
「自主学习」

～家庭を学びの環境に～

旭小学校では、課題となっている家庭学習習慣を美幌中学校と連携して取り組んでいます。学力・学習状況調査の結果からも子どもたちの基礎学力の向上には、家庭学習の習慣が必要不可欠と分析されています。学校と家庭とが協力し、小・中9年間で「自ら学ぶ子ども」を育てることで、子どもたちは自身の力をより一層高めることができます。

親子で話し合いながらご活用いただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

1、基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ごはんと家庭学習」



まずは、基本的な生活習慣を見直しましょう。毎日の生活で、早寝早起き、規則正しい食事などの基本的な生活習慣を確実に身に付け、1日の生活のリズムをつかませることがとても重要です。生活リズムを整え、早寝早起きを心がけることにより、起床してから余裕をもって食事、登校の準備ができるようにしましょう。

2、家庭の学習環境「決まった場所・決まった時間」

「学ぶ力」を育てるためには、家庭では子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組むことが重要です。

テレビやゲーム、タブレット等の時間の約束を決めたり、学習をする時はテレビを消したり、学習する場の整理整頓をするなど集中できる環境を整えることが必要です。毎日の生活習慣を見直し、勉強をする場所や時間等家庭での約束・ルールを決めましょう。



3、家庭学習習慣「自主学习」

「自ら学ぶ子ども」を小・中学校の9年間で育てるためには、小学校1年生から中学生3年生まで、段階的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けていくことが重要です。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	美中1～3年
めやす	20分	30分	40分	50分	60分	70分	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> ・宿題+特に復習+予習 ・平日：2時間（部活との両立） ・休日：学年+1時間 ● 定期テストに向けた家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考える定期テスト計画表

家庭学習習慣	
低学年	・宿題と自主学习に挑戦する習慣づくり
中学年	・自主学习に取り組む習慣づくり
高学年	・自分で目標や計画を立て、自主学习を中心とした習慣の定着
美中	<ul style="list-style-type: none"> ・受験や定期テストに向けて、自分で目標設定・計画を立てる家庭学習 ・授業で習った内容の理解を深め、しっかり身に付けるための復習の重視 ・理解・納得をしやすくするための予習 ・必要最低限で、最優先に取り組む宿題

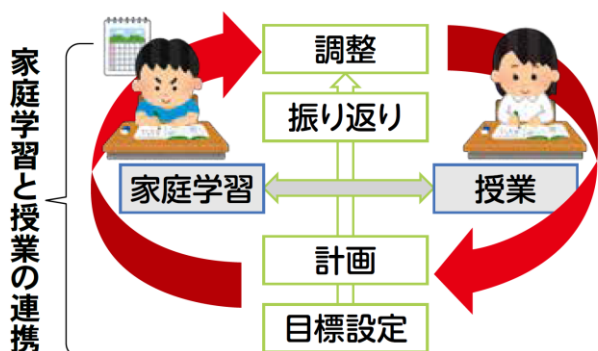
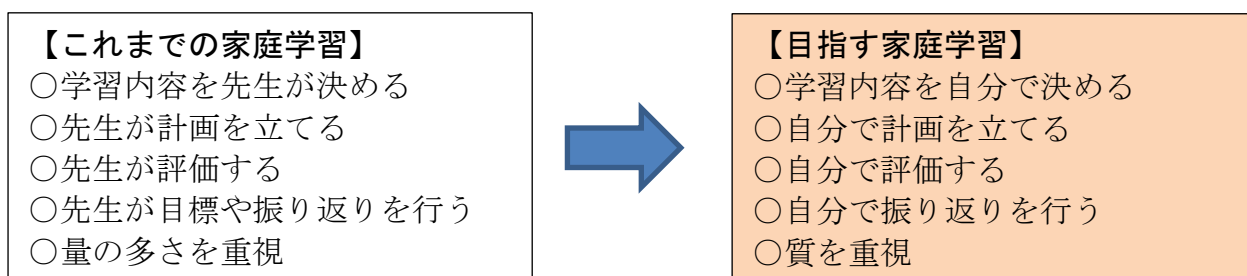
美幌中学校へ進学した際に、大きな壁となり得るのは、約2倍となる家庭学習時間と定期テストに向けて自分で計画を立てる「定期テスト計画表」の取組です。そこで、美幌中学校とのつながりを大切に家庭学習へと見直し、取り組んでいくこととしました。

家庭学習の内容	
宿題	・学校から出す課題で、必ず提出する必要がある家庭学習
自主学習	・自分にどんな力を付けたらよいかを考えて行う家庭学習 ① 授業で習った内容をしっかり身に付ける『復習』 ② 小テスト・単元テストに向けた『自己目標・計画』 ③ 授業の見通しをもつための『予習』
読書	・語彙力や読解力などの「言葉の力」を伸ばす家庭学習 ・全学年毎日10分以上、本を読む習慣を身に付ける

4、「自分にどんな力を付けたらよいかを考える力」

「自分にどんな力を付けたらよいかを考える力」とは、子どもが目標達成に向けて、自分自身の現状を把握し、目標達成のために必要な学習を計画し、自己調整しながら続けていく力です。

学校ではこの力を育成するために、自分の学習に主体的に関わらせながら進めていくことを大切に指導します。そして、家庭学習と授業を別の学習だと考えるのではなく、連続した学習のサイクルと考え、効果的に連動させていきます。



5、「家族のかかわり」

子どもが実際に家庭学習に取り組んでいく上で、ご家庭で一番困ってしまう場面は、子どもからの「何をしたらよいか分からない」という声ではないでしょうか。

保護者アンケートの結果からも、宿題が終わった後の『家庭学習（自主学習）』に課題を感じているご家庭が多いようです。「『宿題』はしっかりやっているようだけど・・・」や「何をしたらよいか分からない様子なので、『宿題』をもっと増やしてほしい」という声を多くいただきます。

しかし、中学生に向けて最も大切な家庭学習の習慣は、宿題以上に、自分で目標や内容を決めて行う『自主学習』の習慣です。

では、『自主学習』として何に取り組んだら、よいのでしょうか。何か特別なことに取り組む必要はありません。悩んでいる子には、「今日授業で習ったことをもう一度やってみよう」とアドバイスしてあげてください。ノートや教科書で授業を振り返りながら、「答えがなぜそうなるのか、説明してみよう」「漢字テストのために練習してみよう」「もっと素早く正確に計算するために集中して取り組んでみよう」といったように、「〇〇を身に付けるために～をする」というように、目標をできるだけ具体的に考えさせながら、自己決定できるようなアドバイスをしてあげてください。

家庭での家庭学習・読書の習慣づくりのために

家庭学習の習慣づくりのためには、お家の方の関わり方がたいへん重要だといわれています。発達段階に応じた関わり方が「勉強は楽しい。もっとやってみたい」という意欲を育てることにつながります。



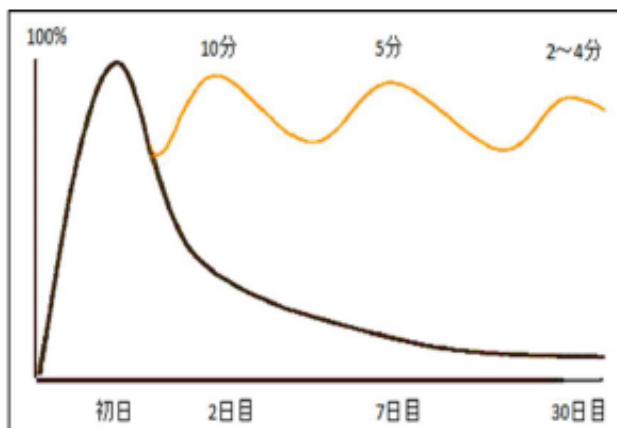
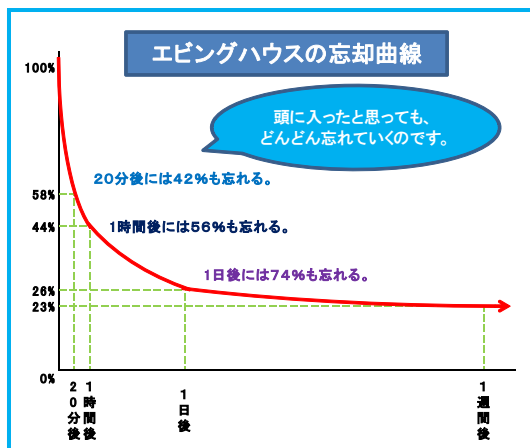
低学年…お家の方が見守りながら、親子で一緒に学習する姿勢を、
 中学年…お家の方が少しだけ関わり、子どもを後押ししながら、自分から進んで学習する姿勢を
 高学年…自分で計画を立てて自発的に学習し、自分で考えながら学力を伸ばす姿勢を

低	丸をつけながらほめる	「すごいね!」「できたね!」「よくがんばったね!」
中	自分から机に向かったらほめる	「自分から始めてえらいね!」「ひとりで最後までできたね!」
高	わからないことを聞きやすい親になる	「辞書で調べてみたら」「自分で調べたの?すごい!」



北海道では「家読（家での1日10分以上の読書）」が推奨され、語彙力や読解力などの「言葉の力」を伸ばすのに欠かせない時間です。しかし、近年ではテレビやゲームだけではなく、タブレットで長時間視聴する子が増え、読書の時間が減ってしまっています。家族みんなで、図書館で本を借りたり、時間を決めて家族みんなで本を読んだりするなど、低学年の内から読書の習慣が身に付くような家族の関わりが必要です。家読の習慣づくりのきっかけとして、家族みんなで、1日10分の「家読」の時間を設けて、ぜひ楽しんでみてください。

「人間は、忘れる生き物」ドイツの心理学者エビング・ハウスの有名な言葉です。脳には「忘れる機能」がついていて、1日後には74%を忘れるようになっているそうです。勉強したことを忘れないようにするためには、効率のよい復習が鍵となります。授業で学習した後、24時間以内に10分間、さらに、1週間以内に5分間、1ヶ月以内に2～4分の復習をすることで、しっかり身に付けることができるのです。



家庭学習チャレンジ

○家庭学習ノート

- ・「**学習した白にち**」を書く。
- ・自分が後で見ても分かりやすいように、**文字をていねいに書く**。

○こんなことに取り組んでみよう！！

【国語】

◎音読練習

- ・教科書の物語や詩、家にある本、絵本を読む。

◎ひらがな、カタカナの練習（ふくしゅう、よしゅう）

- ・物の名前、人の名前を書く。
- ・言葉あつめ。
- ・みじかい文章作り。
- ・日記を書く。

◎漢字の練習（ふくしゅう、よしゅう）

- ・漢字スキル。
- ・みじかい文づくり。
- ・漢字たくさん日記。
- ・読みの練習。

◎視写（ししゃ）

- ・教科書の文や詩。

◎日記

- ・1行日記、3行日記
- ・みらい日記、うそ日記など。

さんすう
【算数】

さんすう
◎算数のふくしゅう

- いま ならった もんだい 直す
・ 今まで習った問題、スキルをやり直す。
- じぶん もんだい
・ 自分で問題をつくる。

けいさん れんしゅう
◎計算の練習（たしざん、ひきざん、かけざん）

- もんだい いちど やり 直す
・ 問題のをもう一度やり直す。（ふくしゅう）
- じぶん もんだい
・ 自分で問題をつくる。

くく あんしゅう
◎九九の暗唱

とけい よ む れんしゅう
◎時計を読む練習。

ながさ
◎長さをはかる。

- たんい
・ 単位のふくしゅう
- もの の ながさ
・ みのまわりの物の長さをはかる。

た
【その他】

- どうぶつ しょくぶつ ちゅう すかん
・ 動物、植物、こん虫を図鑑でしらべる。
- どうぶつ しょくぶつ ちゅう え
・ 動物、植物、こん虫をかんさつし、絵をかく。
- そだて
・ 育てているしょくぶつのかんさつきろく。
- しらべ がくしゅう しらべ しらべてなに
・ 調べもの学習。（なぜ調べたのか、調べて何がわかったのか）

中学年

家庭学習チャレンジ

○家庭学習ノート

- ・「学習した日にち」を書く。
- ・自分が後で見ても分かりやすいように、文字をていねいに書く。

○こんなことに取り組んでみよう！！

【国語】

- ・漢字練習（スキルなどを使って読み方、じゆく語など）
- ・視写（教科書などの文や詩、お話などをていねいにノートに写しましょう）
- ・音読（回数を決める、すらすら読めるようになるまで、お家の人に聞いてもらう）
- ・日記
- ・読書

【算数】

- ・予習
- ・復習（授業でやった問題をもう一度解く）
- ・計算問題（スキルの問題を写して解く）
- ・文章問題を解く（考え方をノートに書いてみる）

【その他】

- 理科の実験のまとめ ●テストやプリントのまちがい直し ●コンパスでもよう作り
- 国語辞典を使って言葉集め ●ニュースについて思うこと ●植物調べ
- 都道府県何でもランキング ●都道府県と県庁所在地調べ
- 日本地図帳調べ（海流や山脈） ●新聞の切りぬきにコメントをつける
- 星座かんさつ ●星座の神話調べ ●お料理調べとクッキング
- 四字じゆく語調べ ●ことわざ調べ ●慣用語調べ

高学年

家庭学習チャレンジ

○家庭学習ノート

- ・「学習した日にち」を書く。
- ・自分が後で見ても分かりやすいように、文字をていねいに書く。

○こんなことに取り組んでみよう！！

【国語】

- ・漢字練習(読み・書き・短文づくり など)
- ・視写(教科書の文や詩などを正しく、ていねいな字でノートに写す)
- ・音読(回数を決め、正しく読むことができるまで取り組む)
- ・日記
- ・読書

【算数】

- ・予習(次に学習するところの教科書を読む・考える・解いてみる など)
 - ・復習(授業でやった問題や間違えた問題をもう一度解き、丸つけをする)
 - ・自分で問題を作って解いてみる
- ※教科書や計算スキルなどを活用しよう
- ※計算問題は、電卓を使って自分で答え合わせをしてみよう

【その他】

- ・理科、社会、英語の予習&復習
- ・ローマ字の練習
- ・自分の興味があることを調べ、まとめる
- ・テストで間違えた問題を解き直す

※自分で取り組む内容を決め実行することで🌟自分で学習するチカラ🌟をつけましょう

※取り組んだ時間よりも、🌟何を学んだか🌟が大切です